

児童発達支援センター きらり直方  
令和 7 年度 事業所評価及び改善目標について

令和 8 年 3 月 23 日  
児童発達支援センター きらり直方  
センター長 野村 祐治

平素より保護者の皆様のご理解・ご協力に感謝申し上げます。  
ご多忙の中、アンケートのご協力ありがとうございました。  
本年度、保護者の皆様・職員による、事業所評価の結果及び改善目標について報告致します。

1・評価結果について

◎保護者様より

(児童発達支援)

- ・言語の専門の先生を配置して欲しい。
- ・保育園、幼稚園との交流はとても大切だと思うが、ほとんど無いように見える。
- ・感染症(インフルエンザ・コロナ・手足口病)などの発症者が複数名発生した場合は早目に報告していただくと安心できる。

(放課後等デイサービス)

- ・活動の様子を LINE で写真付きで送ってもらえるのでありがたい。

(保育所等訪問支援)

- ・保育所等訪問支援については特記はないが、すべて「良い」と評価されていた。

◎職員より

(児童発達支援)

- ・子どもの人数に対して、各クラスのスペースに狭さを感じる。
- ・感覚統合室や放課後等デイサービスの部屋も使用可能であるため、活動に応じて使い分けられる点は良い。
- ・今年度は新入ひまわりこども園との交流の機会(芋掘り体験)があったため、来年度も引き続き実施したい。

(放課後等デイサービス)

- ・研修には参加出来ている。行くための時間も確保出来ている。
- ・新しい活動はあまり行えておらずマンネリ化している。

(保育所等訪問支援)

・今年度は、新たな幼稚園への訪問を行い、園との関係づくりを進めることができたことは良かった。

2・改善目標について

◎児童発達支援

・言語の専門職の配置については、事業所としても重要であると認識しております。今後も引き続き、人員確保に努めてまいります。

・障がいのない子どもとの交流については、今後も交流の機会を検討し、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

・感染症（インフルエンザ・コロナ・手足口病等）が複数名発生した場合には、速やかに保護者の皆さまへ報告するよう努めてまいります。安心してお子さまを預けていただける環境づくりに取り組んでいきます。

◎放課後等デイサービス

・今後は活動がマンネリ化しないよう、さまざまな取り組みを通して活動の幅を広げていきたいと考えています。また、LINE を活用し、写真なども交えながら日々の活動の様子をお伝えし、保護者の皆さまと継続的な情報共有を行ってまいります。

◎保育所等訪問支援

・対象児童の退園に伴い、今年度の保育所等訪問支援は一旦終了となります。次年度につきましては、ご希望される方がいらっしゃいましたら、引き続き対応していきたいと考えております。また、保育所等訪問支援については、まだ十分に認知されていない現状があると感じており、今後の課題の一つとして、より多くの方に知っていただけるよう取り組んでまいります。

アンケート結果を踏まえ、今後も定期的に活動の見直しを行うと共に、子どもの目標を明確にし、それに向けた活動を提供していきたいと思っております。今後も勉強会や研修に積極的に参加し、職員のスキルアップを図るとともに、ST の配置を目指してセンター全体の支援の質向上に取り組んでいきます。

また、併用先の園や学校と連携を取りながら関係性を築いていきたいと考えています。

子どもたちがきらりに楽しく通えることを目指し、安心して過ごせる環境づくりや個々の成長に合わせた支援に取り組んでいます。遊びや学びの中でできることを増やし、自己肯定感を高めながら、子どもたちが笑顔で過ごせる時間を提供できるよう努めてまいります。

今後も保護者及び、職員からの意見をもとに改善し、お子様、保護者様に寄り添いながら安心して楽しく過ごせるきり直方を目指したいと思っております。